



# 広島県 遺族新聞

第161号  
平成29年1月1日  
発行所  
一般財団法人 広島県遺族会  
〒730-0036  
広島市中区袋町1番21号  
電話 082(247)1216  
FAX 082(247)1397  
発行責任者 平田 修己  
編集責任者 佐々木 幸雄  
印刷所 朝文化社

## 新年のご挨拶



一般財団法人 広島県遺族会  
会長 平田 修己

新年あけましておめでとうございます。ご遺族の皆様方には、平成二十九年の新春をお健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。旧年中は当遺族会に對しまして、



遺族会館全景

あたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。戦後七十一年に当たった昨年八月十五日には日本武道館において天皇皇后陛下のご臨席を仰ぎ、戦没者遺族等六千名の参列のもと全国戦没者追悼式が挙行されました。当会からの参列者二十五名は、靖国神社での昇殿参拝を済ませ日本武道館での式典に臨みまし。今年度は、式典において追悼の辞を述べる遺族代表に当会の小西 照枝副会長が広島県から推薦を受け、当日は立派に務めを果たされました。また、沖繩「ひろしまの塔」戦没者追悼式は、十月二十六日に広島県

## 謹賀新年

- 会長 平田 修己
- 副会長 藤原 彌之
- 同 小西 照枝
- 常務理事 竹鶴 寿夫
- 同 高橋 伸吉
- 同 古川 正司
- 同 岩崎 孝子
- 同 谷原 英邦
- 同 上松 英邦
- 青年部部長 河本 智登里
- 青年部副部长

主催で広島県健康福祉局社会援護課長出席のもとで実施していただきました。参列遺族二十二名が南方で散華されたご英霊を偲び、平和に対する思いを新たにいたしました。英霊顕彰運動の根幹であります内閣総理大臣の靖国神社参拝につきましては、今後、信念を貫かれ、内外の批判に屈することなく、毅然とした態度で参拝していただけるものと信じております。なお、昨年の秋季例大祭中に国会議員一七〇名が参拝されましたが、

広島県内の国会議員の参拝は、比例区選出の小島敏文衆議院議員わご一名となっており、周辺県の国会議員に比較して理解が得られていません。また、近年の護国神社への知事参拝は、全国で二十五県程度でありますが、併せて靖国神社への参拝も定着させるように要望活動を行っていく必要があります。遺族会としては、「総理及び閣僚の靖国神社参拝」を定着させ、今上陛下ご親拝の途を啓いていただくことを待ち望んでいます。県内各遺族会における英霊の顕彰運動も、遺族の皆様と行政の連携により、厳粛に執り行われていきます。会員の皆様方の献身とご努力に對して敬意を表する次第です。昨年は、各遺族会の慰霊祭・追悼式に出席させていただき、戦没者へ哀悼の意を表するとともに会員の皆様とも親しくお話しすることが出来ました。戦没者遺族の処遇改善につきましては、昨年十二月十五日に開催された全国戦没者遺族大会等による働きかけにより日本遺族会が国へ要望した事項は、ほぼ満たされたものとなりました。戦没者遺児による慰霊友好親善事業の充実、遺骨収集帰還事業の拡充強化等の諸問題の解決に向けて、日本遺族会の活動を支援していかねばなりません。昨年からは「戦没者を語る

会」については、十一月には女性部研修会において八名の講師により実施しました。戦没者の人柄、足跡等について遺族が語られた内容はビデオカメラで記録して、ホームページに動画を掲載する準備を進めています。また、ホームページについては、日本遺族会及び当遺族会実施の各種事業を紹介し、申請用紙等も入手できるようにしています。これまで各会長、女性部長、事務局に文書で連絡していた情報が遺族の方に広く、早く手元に届くようになりなりましたので、是非とも活用していただきますようお願いいたします。当遺族会も、今後ますます会員の高齢化が進み、各遺族会の活動が衰退する虞があります。組織を維持発展させるため、各遺族会で後継者となる青年部役員を選任していただきたいと思います。今後とも英霊の顕彰を絶えることなく継続させ、戦後の無尽の平和な世界実現の願いを、戦後に育つた人々に伝えていくための、中心的な団体として、遺族会を存続させなければならぬと思います。私も当面する問題の解決のため、全力を尽くして参る所存でありますので、皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。年頭に当たり、ご遺族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



広島県健康福祉局長  
菊間 秀樹

新年明けましておめでとうございます。御遺族の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。一般財団法人広島県遺族会におかれましては、創立以来、会員の皆様強い結束のもとに、戦争犠牲者の慰霊や御遺族の福祉の増進等の各種事業を積極的に推進されるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていく為の取り組みをされておられることに對しまして、深く敬意を表します。昨年は、先の大戦が終結して七十一年の年を迎え、全国戦没者追悼式において本県の御遺族が、全国の遺族を代表し追悼の辞を務め、青少年世代を代表して献花補助者を行うなど、式典に深くかかわり、あらためて戦争犠牲者への追悼の意を表すこととなりました。また、大きな出来事として、5月に現職のアメリカ大統領の広島訪問が初めに実現し、被爆の実相に直接触れた歴史的な一歩となり、

## 遺族会の動き

- 平成二十九年二月十九日(日)曜日  
第五回常務理事会
- 平成二十九年三月十二日(日)曜日  
第九回理事会
- 平成二十九年三月二十六日(日)曜日  
第八回評議員会

平和に對する世界的な関心が高まりました。終戦以来既に七十二年、人々の戦争の記憶が風化していく中、戦争の悲惨さを若い世代に語り継ぎ、戦禍により貴重な命が失われることが二度とないよう、恒久平和の実現に努めていくことが、今を生きている私たちの使命であると考えています。県といたしましては、引き続き国と連携を図りながら、今日の繁栄の礎となられた戦没者の方々に深く敬意をいたし、戦没者の御遺族に對する援護事業の充実に向け取り組んで参ります。今後とも、会長を始めとする会員の皆様方より一層の、御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。年頭にあたり、貴会のみならず御発展と、会員の皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



**全国戦没者  
追悼式団体参列**

平成二十八年八月十五日、日本武道館において、天皇后両陛下のご臨席を仰いで、全国戦没者追悼式が行われました。県遺族会から平田 修己会長を団長として二十五名が参列した。

前日、新幹線により上京、歌舞伎座において歌舞伎の鑑賞後に東京都内に宿泊した。

翌十五日の当日は靖国神社に昇殿参拝を行った後、記念撮影を行

平成二十八年十月二十六日、小西 照枝副会長を団長とする二十二名の参列団は、広島空港を出発し、沖縄に向かった。

当日は、沖縄護国神社参拝、海軍司令壕、対馬丸記念館を視察した後、ホテルへ。翌二十七日は、追悼式会場である糸満市に向かい、午前十時三十分から挙行された追悼式に参列した。追悼式には、沖縄県知事(代理)を始め、六名の来賓が出席された。

**沖縄「ひろしまの塔」  
戦没者追悼式団体参列**

い日本武道館に入場した。式典は各都道府県からの遺族参列者約六千名が出席し、十一時五十分には天皇后両陛下のご臨場され、国歌斉唱、安倍内閣総理大臣の式辞、黙祷の後天皇后陛下のごことばがあり、追悼の辞、献花が行われて滞りなく閉会した。今年度は特に広島県知事の推薦により小西 照枝副会長が全国戦没者遺族代表として追悼の辞を述べられた。

式典終了後、遊就館を見学の後、帰路に就いた。



広島県知事式辞



(一財)広島県遺族会会長追悼の辞

式典は、知事式辞を日下 仁彦 広島県社会援護課長が代読された。続いて小西 照枝団長から追悼の辞が述べられた。その後、参列者全員の献花が行われ追悼式は、滞りなく終了した。式後に参列者全員の記念撮影が行われた。

午後は平和の礎参拝・平和祈念資料館及びひめゆりの塔記念館を見学の後ホテルに向かった。

翌二十八日は首里王朝時代の聖地久高島を見学後、那覇空港において解散式を行った後、十五時三十分、参列を終えた。

一「ひろしまの塔」の概要  
昭和四十二年三月、知事、県議会議員を世話人とする「ひろしまの塔」を建設するための広島県戦没者沖繩慰霊塔建設委員会が発足  
昭和四十三年五月、完成、除幕式

二「合祀者等」  
①合祀者数 三万四千六百三十五柱  
②合祀者の範囲 昭和十六年十二月八日以降の、いわゆる太平洋戦争での戦没者

③戦死者の範囲 フィリピン 九千九百八十八柱、東部ニューギニア 九千六百六十五柱、ビスマルク・ソロモン諸島 八千八百四十一柱、ビルマ・インド 千四百六十七柱、沖縄・南西諸島 千二百四十四柱、硫黄島 七百八十七柱他

**平成二十八年年度 一般財団法人 広島県遺族会の行事報告**



会長挨拶



備後護国神社 江種 克二宮司



広島護国神社 藤本 武則宮司

平成二十八年年度女性部研修会は、広島市まちづくり市民交流プラザにおいて十一月二十四日・二十五日に各支部からの出席者四十四名により、盛大に実施された。

当日は、平田 修己会長及び小西 照枝女性部長の挨拶の後、広島護国神社 藤本 武則宮司及び備後護国神社 江種 克二宮司を講師にお招きし、神社の歴史等についての講演会を行った。

その後、「第三回戦没者を語る会」を講師八名により開催した。

翌二十五日は、広島市平和記念資料館の見学会を行った。

**「女性部研修会」及び「第三回戦没者を語る会」の開催**

第3回「戦没者を語る会」講師一覧表

区分	講演順	所属・職名	氏名	郵便	住所	電話	題名	備考
1区		廿日市市遺族連合会	富士枝 勇雄	738-0036	広島県廿日市市四季が丘九丁目8番地の15	0829-38-2077	平成27年度日滿州地域慰霊友好親善事業に参加して	執筆者
1区	1	廿日市市遺族連合会	亀井 ちどり	738-0026	廿日市市上平良1345番地の11	0829-39-7778	(代説)	講師
1区		安芸高田市遺族連合会	山廣 信子	739-1104	安芸高田市甲田町上甲立280	0826-45-7777	硫黄島遺骨収集帰還事業に参加して	執筆者
1区	2	安芸高田市遺族連合会	繁本 高竜子	731-0305	安芸高田市八千代町上根889	0826-52-3240	(代説)	講師
3区	3	東広島市遺族連合会	荒光 マサ子	739-2020	東広島市黒瀬町市飯田663	090-1014-8256	父の戦歴を訪ねて	〃
3区	4	東広島市遺族連合会	山内 博子	739-2208	東広島市河内町入野2730		私の戦後70年	〃
4区	5	尾道遺族会	荒川 和彦	722-0026	尾道市栗原西1-5-24	090-4892-9939	あれから70年	〃
5区	6	三原市遺族会	原 雪子	729-0413	三原市本郷町南方7865	0848-86-3078	戦没者の遺児80年を生きて	〃
6区	7	福山市遺族会	三阪 勝則	720-0003	福山市御幸町森脇172-8	084-955-3493	一度も会ったことのない父を偲ぶ	〃
7区	8	神辺町遺族連合会	庄司 怜子	720-2106	福山市神辺町19軒屋291-24	084-962-1869	父を知らない生活	〃

## 「第七十二回全国戦没者遺族大会」

平成二十八年十二月十五日に自由民主党会館八階ホールで開催されたこの大会に、篠原 彌之副会長他役員等八名が参加し、大会終了後、要望事項に対する理解と協力を要請する陳情運動を地元選出国會議員に行った。

### 陳情先(自由民主党地元選出国會議員)

衆議院議員 岸田 文雄氏、河井 克行氏、寺田 稔氏  
平口 洋氏、小島 敏文氏、中川 俊直氏  
小林 史明氏  
参議院議員 溝手 顕正氏、宮沢洋一氏、石井みどり氏

### 「大会の概要」

一 参加者 四一八名  
二 来賓 自由民主党代表 細田 博之 組織運動本部長  
他二六七名  
三 経過 現在の厳しい財政状況のなか、公務扶助料、遺族年金等の改善をはじめ、厚生労働省社会・援護局提出概要要求、さらには、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の充実、遺骨収集帰還事業等の拡充強化、さらには、全国戦没者追悼式への国費参列者の増員及び式典内容の見直し等々、戦没者遺族の処遇改善に関する要望事項の完全実現を目指し、四七都道府県遺族会の代表が東京・自由民

主会館ホールに参集し、自由民主党所属の衆参国會議員の先生方を来賓に招いて遺族大会が開催された。なお、地元選出国會議員は、衆議院議員 小島敏文氏(本人)、平口洋氏(本人)、小林史明氏(本人)が出席された。  
開会の言葉を宇田川 劔雄副会長が宣し、国歌斉唱について、靖国の杜に鎮まる二四六万六千余柱のご英霊に感謝の黙祷を捧げた。  
その後、水落敏栄会長挨拶、来賓あいさつをいただいた後、会議に入り、日本遺族会常務理事 三浦妙子女性部長から意見発表が行われた。  
続いて、大会宣言及び決議が満場一致で採択された。  
(詳細は、日本遺族通信 平成二十九年一月十五日号をご覧ください。)



## ホームページの活用について

当会では、昨年度からホームページを開設しました。会員をはじめ多くの遺族の皆様にご利用いただくことを願っています。

より簡単に利用をしていただくために、今年度中にホームページの中に「ご利用の手引き」を設ける準備をしています。

- アドレス : <http://hiroshima-izokukai.jp>  
閲覧機器 : パソコン、スマートフォン、タブレット  
閲覧方法 : 検索サイトで「一般財団法人 広島県遺族会」と入力し検索してください。

### (トップページ)



広島県遺族会とは  
広島県遺族会は、「大東亜戦争」戦没者遺族の全国組織の一員として昭和24年8月に広島県遺族厚生連盟が発足し、昭和26年11月16日に財団法人として認可されました(昭和30年5月に財団法人広島県遺族会に改称)。さらに平成25年4月1日付けで、一般財団法人への移行認可を受けました。県内各都市町に遺族会があり、遺族間の交流を図ると共に、戦没者の慰霊顕彰、遺族の福祉向上を目的に、二度と戦争の被害者を出さないよう、真の世界平和を目指して活動をしています。

特別弔慰金を受給されている遺児の方、孫・曾孫の方へ  
遺族会入会をお願いします  
入会のご案内

広島県遺族会について